

学園だより

No. 2

1969

8月10日発行
財団法人
中国四国酪農大学校

仲間意識を高めよう

校長 花田時太

卒業生諸君には益々

元気で日夜業務に精励

諸君はこのような事態を十分念

三月二十八日第三期生が二ヶ年の全課程を無事に終了してめでたく卒業しました。

された頑張りには頭がさがります。本校の特色であります一年間の自主研修も自家研修から積極的に

酪農大学校も累立当初から教えて九年目、財団法人になってから五年目を迎え、その間通算七回に亘り、総計一六四名の卒業生を送り出し、更に現在在籍在学の財団第四期生四四名、第五期生四〇名が夫々

卒業式の当日は長谷川岡山県副知事を始め多数の来賓と本校全職員

の祝福をうけながら酪農経営士の称号にふさわしく元気に社会人

卒業式 卒業生を送り出し、更に現在在籍在学の財団第四期生四四名、第五期生四〇名が夫々

の大きな共通した基盤のもとに、本校に学び酪農に関する専門教育を受けた全くの同志であり、斯界のエリートであることの自覚と誇

卒業式の当日は長谷川岡山県副知事を始め多数の来賓と本校全職員

の祝福をうけながら酪農経営士の称号にふさわしく元気に社会人

卒業式 卒業生を送り出し、更に現在在籍在学の財団第四期生四四名、第五期生四〇名が夫々

の大きな共通した基盤のもとに、本校に学び酪農に関する専門教育を受けた全くの同志であり、斯界のエリートであることの自覚と誇

第3期生36名

3月28日卒業



卒業式

卒業式 卒業生を送り出し、更に現在在籍在学の財団第四期生四四名、第五期生四〇名が夫々

の大きな共通した基盤のもとに、本校に学び酪農に関する専門教育を受けた全くの同志であり、斯界のエリートであることの自覚と誇



花田校長

として第一歩を踏み出しました。

卒業式 卒業生を送り出し、更に現在在籍在学の財団第四期生四四名、第五期生四〇名が夫々

の大きな共通した基盤のもとに、本校に学び酪農に関する専門教育を受けた全くの同志であり、斯界のエリートであることの自覚と誇

の大きな共通した基盤のもとに、本校に学び酪農に関する専門教育を受けた全くの同志であり、斯界のエリートであることの自覚と誇

第三期生は入学三十九名、卒業三十六名でありました。途中で家庭の事情や一身上の都合等で退学二名、休学二名がありましたこと

卒業式 卒業生を送り出し、更に現在在籍在学の財団第四期生四四名、第五期生四〇名が夫々

の大きな共通した基盤のもとに、本校に学び酪農に関する専門教育を受けた全くの同志であり、斯界のエリートであることの自覚と誇

の大きな共通した基盤のもとに、本校に学び酪農に関する専門教育を受けた全くの同志であり、斯界のエリートであることの自覚と誇

註、これは第三期生が実習中(土気を揚げるため)とか、何かの行事等によく歌っていたもので紹介します。

目次

第三期生卒業	1
仲間意識を高めよう	1
第五期生入学	2
第六期生募集	2
学園通信	3
人の動き	4
合理的放牧の原則	5
酪農経営一日診断	5
ニュージランド酪農研修を経て	5
三木ヶ原	8
趣味拝見	9
随想	10
第三・五期生名簿	11
楽ということ	11
感想	12

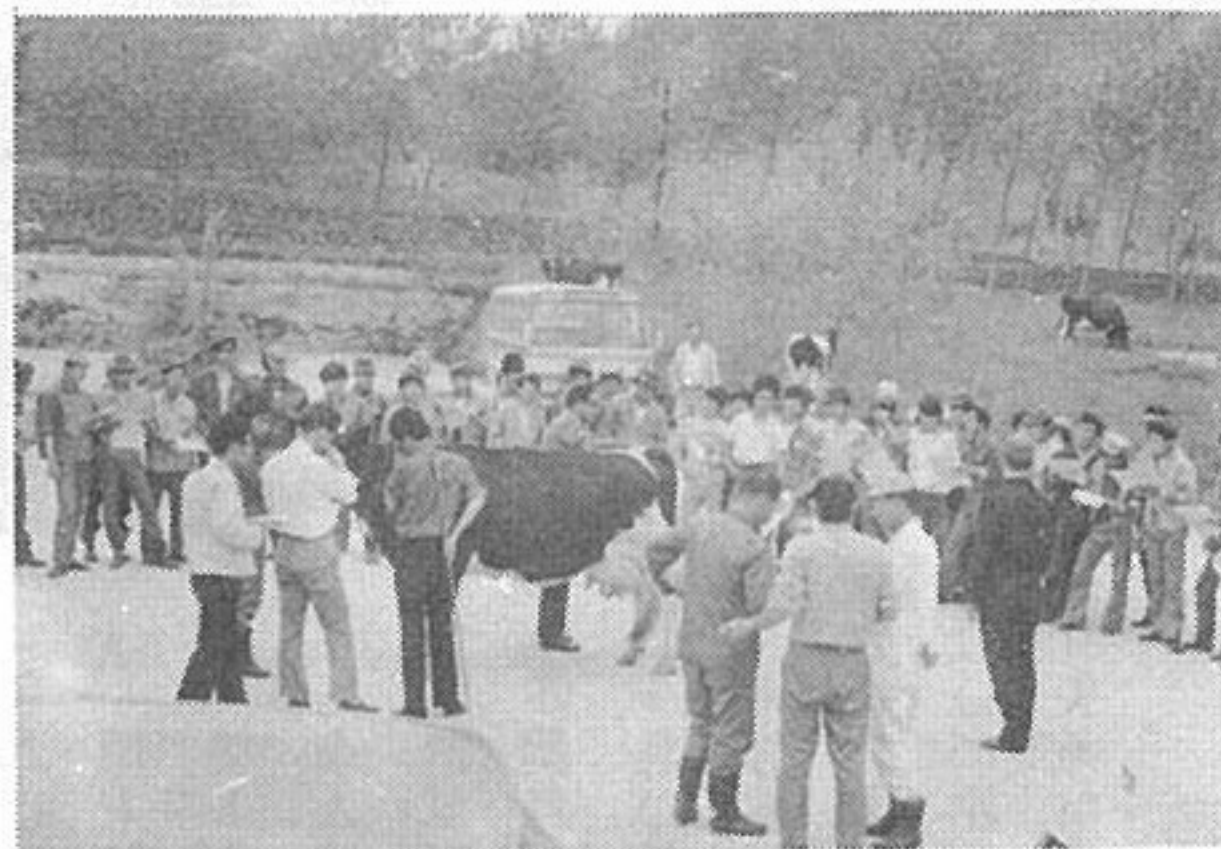
酪大第三期生の歌

作詞 近成吉行
(子科練の曲)

- 一、若い我らの酪大は
蒜山三座のすそに咲く
今日も行く 三木ヶ原にや
でっかい希望の雲がわく
- 二、燃る闘魂酪大の
腕はくろがね心は火玉
でっかい大地に汗を流し
友とつちかう酪大根性
- 三、仰ぐ先輩酪大の
成行開くたび血潮がうずく
どんときたえた開拓精神
酪大魂にや不可能あらず

第5期生40名

4月8日入学



昭和四十四年度新入第五期生は、四月八日入学式を迎えました。晴れの入学式には、農政局次長を始め多数の来賓、理事長代理、校長等の祝詞並びに訓詞を賜り、この酪農大学校に希望を託してみんな元気で学園生活に入りました。

この第五期生は、中国、四国、兵庫県を含む一〇県から六三名が受験し、優秀な学生四〇名が入学を許可され、短期間の学科と実習並びに校外研修に、寸暇を惜しんで

昭和四十四年度新入第五期生は、で意欲的によく頑張っております。受験者及び入学許可された学生を県別に見ると次のとおりであります。

()内は女子の数 (名簿別載)

審 査 実 習

目 的

自立農業後継者について近代的企業能力を持つ健全な酪農経営者を養成する。

学 制

一、本校は二ヶ年修業制とする。

(但し年六ヶ月登校)

二、本校では期制とし登校期日は

第一期 昭和四五年四月から九月まで

第二期 昭和四六年十月から翌年三月まで

第一期 昭和四五年四月から九月まで

第二期 昭和四六年十月から翌年三月まで

的な知識と技術の習得については、本校の企業的牧場を実習に供し実践的教育を行なう。

更に全寮制による集団生活を通じての人間形成の達成を期する。

履習科目としては、学科二六科目、実習一〇科目

募集人員 四〇名

受験資格 中国及び四国地方の各県並びに兵庫県に居住し又は卒業後居住することの確実なものであって次の一に該当しなければならぬ(男女別を問わない)

一、高等学校を卒業したもの

二、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると校長が認めたもの。

受験手続 一、願書受付期日 昭和四五年一月五日から

第六期生募集

試験、論文及び技能判定の考查結果により、これを校長が認定し理事長が卒業証書を授与し本校の酪農経営士の称号を与える。

五、その他の恩典、家畜改良増殖法による家畜(牛)人工授精師及びトラクター運転免許(農耕用)の別途が講ぜられる。

教育内容及び履習科目 酪農全般に亘り夫々専門的学理について授ける、特に企業的近代経営を行なうために高度の総合

6.写真(上半身脱帽の名刺型で最近三ヶ月以内に撮影したもの)二枚のうち一枚は入学願書に貼付、一枚は別封し裏面に氏名、年令(生年月日)撮影月日記入のこと

7.受験料一、〇〇〇円を添えること(取扱い上現金又は為替)

送付先 岡山県真庭郡川上村 西茅部六三二番地 中国四国酪農大学校長あて

受験手続 入学願書など関係書類一括して願書受付期日までに本校に必着するよう出身県畜産課長を経由して提出

入学試験 期日 昭和四五年三月五日(一日) 場所 当校において実施

方法 選考は学力、人物及び身体について行なう。

1.学力検査、数学、国語、社会学、2.口頭試問、一般常識、人物考査、3.身体検査

入学期日 昭和四五年四月上旬予定

学費その他経費(月額) 1.授業料三、〇〇〇円、六ヶ月分 一三、〇〇〇円を就学前に完納すること。

2.寮 費 五〇〇円

3.寮自治費 二〇〇円

4.旅行積立 六、〇〇〇円

県別入学者数

区別	昭和44年度	
	受 験 者	入 学 者
兵庫県	5	3
高知県	3	2
愛媛県	5	2
香川県	7	4
徳島県	1	0
山口県	1	0
島根県	6	5
鳥取県	3	2
広島県	7	4
岡山県	25(4)	18(4)
計	63(4)	40(4)

5. 食費 三、九〇〇円(副食費)
6. 教科書、その他 一五、〇〇〇円(入学当初)

主要施設

一、総面積一一、三二ha
(第一牧場二二ha、第二牧場九〇ha)

二、建物 本館、講堂、学生寮、女子寮の他三七棟あり

三、農業機械 近代設備と大型酪農機械を設置している。

四、飼養頭数 一五〇頭

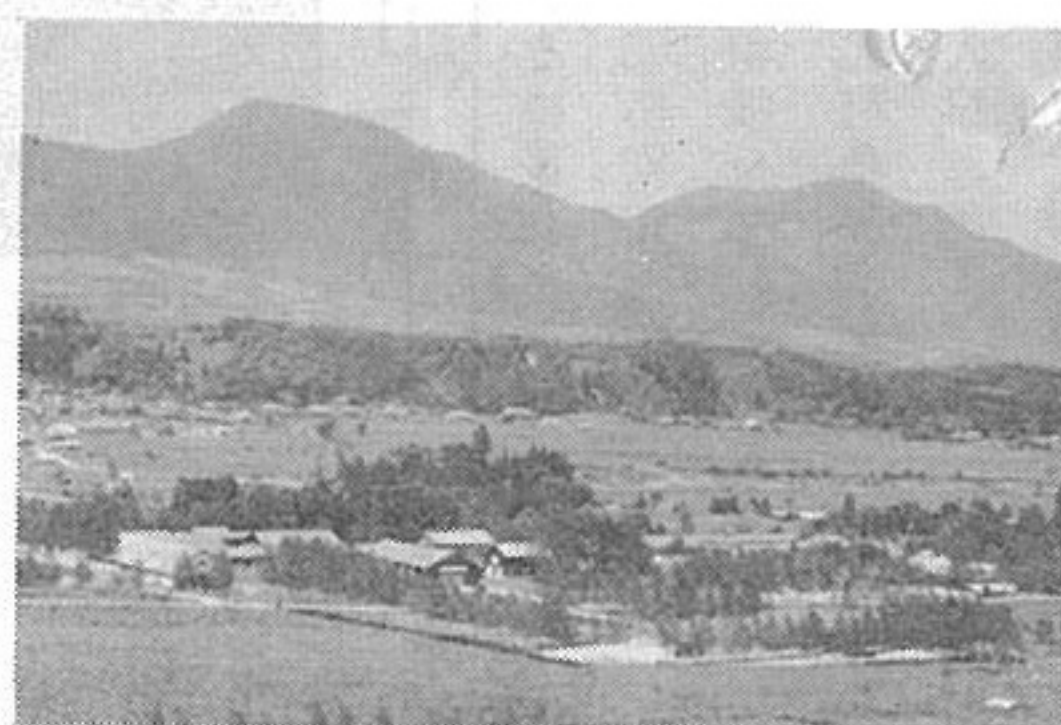
第一牧場ホルスタイン種 五〇頭

第二牧場ジャージー種 一〇〇頭

以上の通りですが、学生募集要領と入学願書については各県畜産課及び普及課並びに関係高等学校に配布しております。なお、不明の点は本校教育部教務課宛照会されたい。(返信料同封のこと)

学 園 通 信

牧場の近況



夏の訪れた蒜山は、各所で乾草です。

調製の風景がみられます。

牧場も例年の様に職員、学生ともに顔を真黒にして乾草作りに懸命です。

炎天のもと 鼻の孔まで黒くしての乾草実習は、卒業生の皆さん誰しもが体験されたことで、今でも夏ともなればこの時の苦しさをホロ苦く、想出されていることでしょう。乾草もすでに、今年目標数量の2-3を取入れました。先輩諸兄のこうした努力により、牧場経営の基礎も次第に固り、成績も漸次向上しております。

昨年十月には、日本で初めての全国ジャージー共進会が、此の地蒜山(川上小学校)で開催され、ジャージー導入県、一道一〇県が参加し盛大に開催され本校からも

学 校 の 全 景

一頭を出品、見事一等賞に入賞しました。此の期間中、農林省を始め全国関係者が、蒜山を訪れ牧場に多数、視察に來られました。本年度の経営規模は次の通り

区 分	品 種	乳牛頭数			耕 地		人員	備 考
		成牛	育成牛	子牛	草地	畑		
第1牧場	ホルスタイン	36	7	4	1035 ha	4.17 ha	3	別に借入地 10.0 ha
第2牧場	ジャージー	76	6	14	5853 ha	1.70 ha	6	
衛生課							1	
計		112	13	18	6888 ha	5.87 ha	11	(含部長)

なお牧場の乳牛改良のため、基礎牛となる優良種牝牛の導入を、四二年度から開始しております現在迄の導入状況は下記のとおり。

区 分	購入頭数	購 入 先
ホルスタイン種	7	農林省畜試3頭 青森県1頭
ジャージー種	7	長野種畜場2頭 青森県1頭 岩手県内2頭
計	14	

なお、本年度も県酪試よりホル三頭、岩手種畜牧場からジャージー一三頭、その他から一、二頭の導入を計画しています。



全国ジャージー共進会
グランドチャンピオン

た乳牛も、栄養状態も回復し、資質も或る程度そろってきたので、昨年から高等登録の検査を受け、体格審査を終り目下乳量の検定中です。

登録検査(体格)受検成績

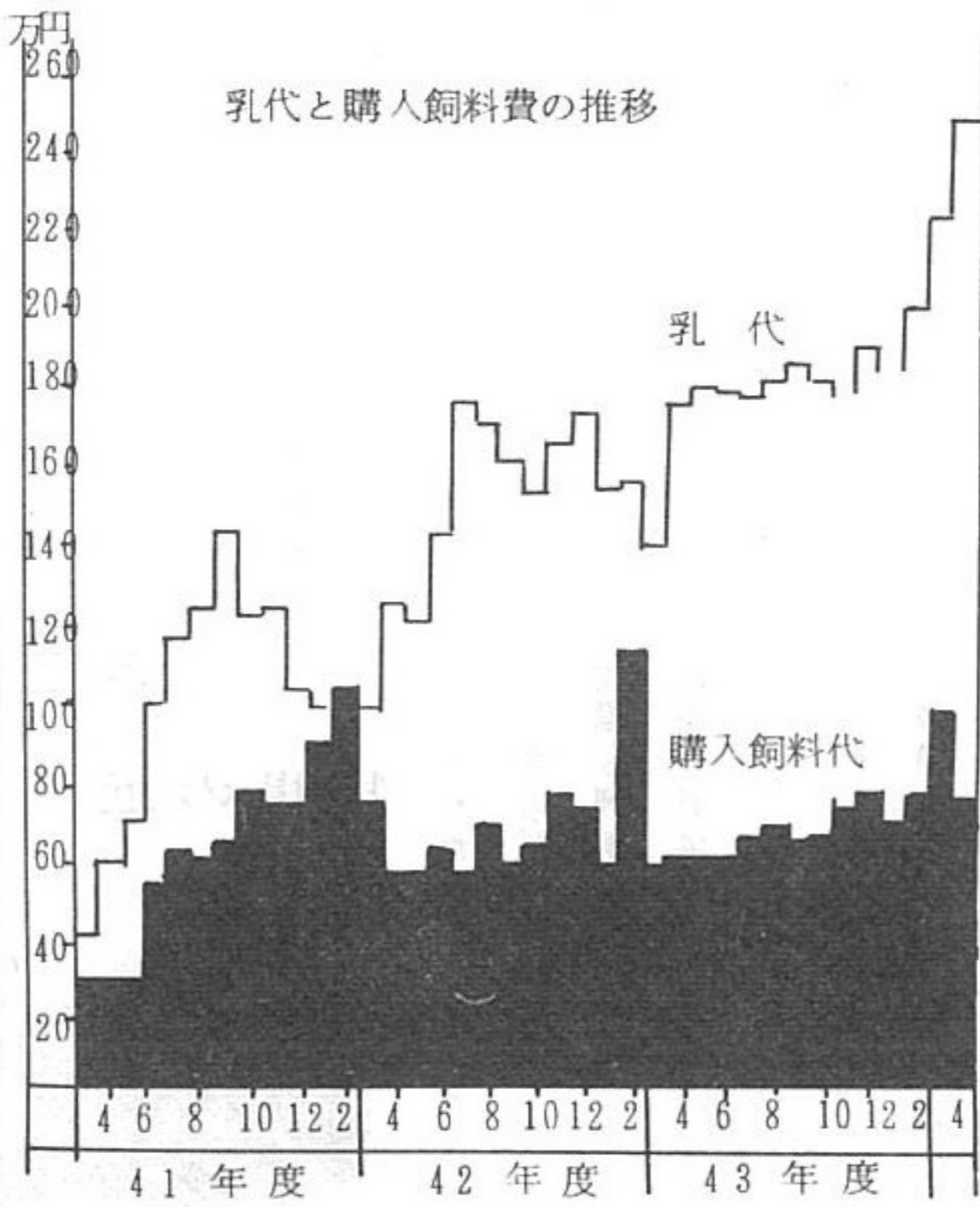
年度	品 種	受検頭数	合格頭数	体格審査得点					
				80	78.5	78	77.5	77	76.5
43年	ホルスタイン	3	3			2		1	
度秋	ジャージー	9	9	1	1	1	3	2	1
44年	ホルスタイン	5	5		4		1		
度春	ジャージー	0	0						

又昨年は、岡山県で実施された乳質改善共励会にも参加、最優秀賞に選ばれました。このことは特に期間中在校して、直接努力された三期生、四期生にお伝へし、その喜びをわかちたいと思います。なお四四年度に於ける牧場運営の重点は
一、自給飼料の増産
二、乳牛の能力向上
の二点にしぼって、一層牧場の経営内容の充実を図りたいと思いますが、このことは直接学生教育の場としての真価を発揮するものと考え努力しております。皆さんも暇をみて是非学校を訪れて下さい。そして、皆さんが日常の経営から得られた貴重な体験を、我々に又後輩に御教示下さい。

人の動き

昭和四十三年五月に着任されて以来、約二年間にわたり大学の運営は勿論、学生の指導教育に敏腕を振るわれた。中島先生は、三

月末で退職されその後益々元気で岡山県肉用子牛価格安定基金協会事務局長として頑張っておられます。(岡山市磨屋町農業会館内)



課より赴任された今本先生が教育部長を兼任される他、次のように移動がありそれぞれの職場で勉勵されておられます。

旧任

総務部長 藤川武雄 (岡山県議会)

教育部長 中島大二 (事務局)

第一牧場長 守屋典彦 (岡山県酪農試験場)

主事 水谷弘子 (岡山農林事務所)

助手 池田勝 (岡山県酪農試験場)

新任

次長 今本香豆彦 (岡山県農林部畜産課)

総務部長 田中正志 (〃新見土木事務所)

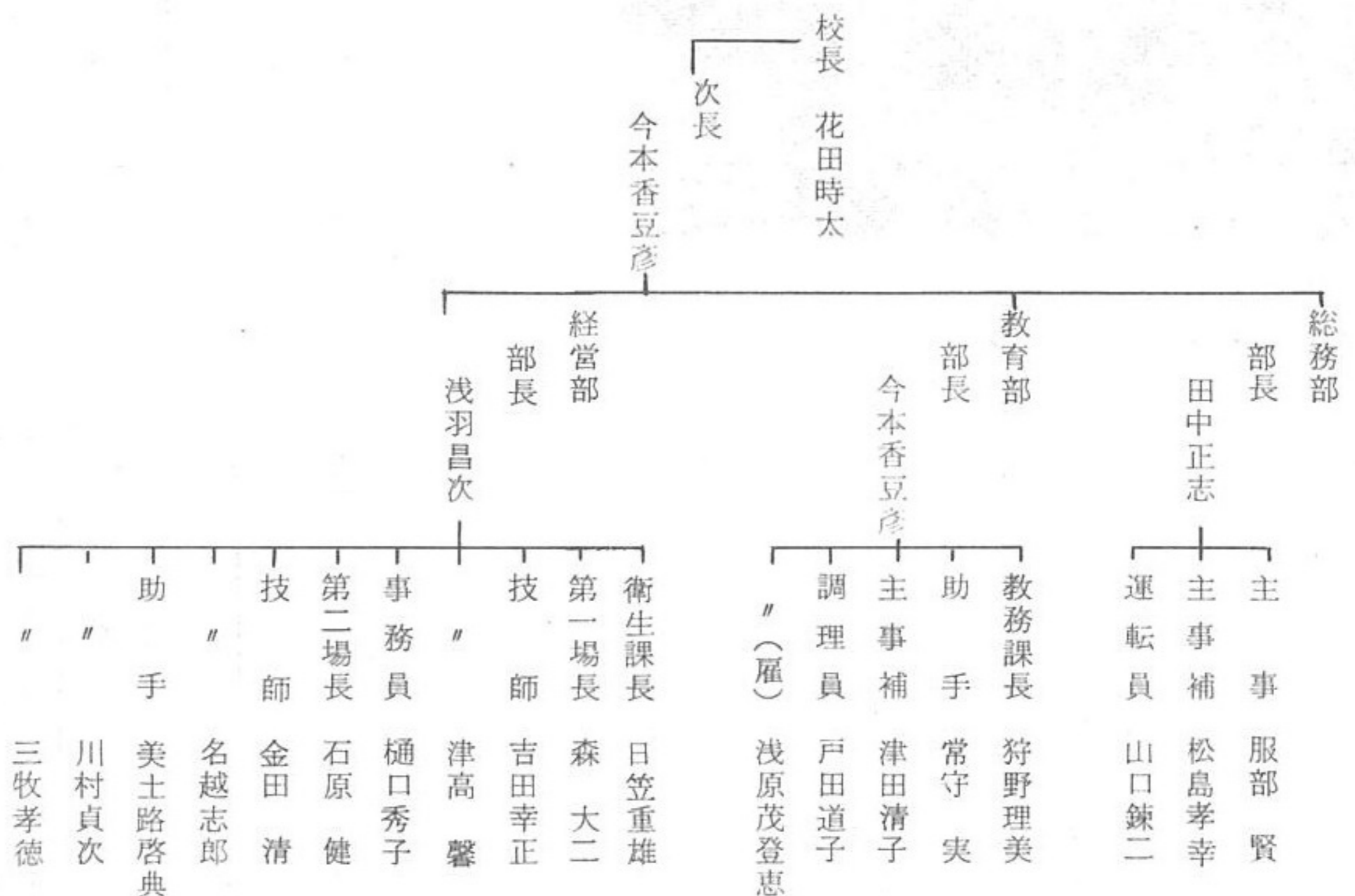
教育部長 今本香豆彦 (〃農林部畜産課)

第一牧場長 森大二 (〃農林部畜産課)

主事補 松島孝幸 (新任)

技師 名越志郎 (新任)

組 織



研究室

合理的放牧の原則

原則

浅羽昌次

経営規模の拡大に伴い、各地で改良草地への放牧風景がみられる様になったが、この場合実務に当る人の常に心得ておかねばならぬ、草地の放牧利用について有名な原則がある。これは、フランスのヴオワサン氏が唱へたもので、如何なる条件のもとでも適用されるというもので、和訳されたものは長文であるが、日野水氏が「アルベン酪農をめざして」の中で、上手に要約しておられるので御紹介したい。

一、牧草休養の原則
この原則は、牧草の養分の蓄積と、これに伴う収量の増大を期待したもので、同一草地に輪換放牧する場合、一回利用したあと牧草が適正な長さ（二〇cm前後）になるまで、休養を与えるということである。

適正な休養日数は、季節、場所、草地の管理法等、諸条件によって異なることは勿論である。

二、一草不採食の原則

同一牧区での放牧日数が長くなると、最初採食した草が再び伸び（五月頃には五日位）て牛に食わせることになる。

これは、草生を急速に低下させ結果になる。普通禾本科牧草では、採食後の草の高さは一〇cm前後に保つのがよいといわれており、このためには、一牧区の放牧日数を短かくして（理想的には三日以内）、輪換に努めることが必要である。

三、最大採食の原則

良質の牧草を最大量採食させるということ、もつともなことである。

ヴオワサン氏によると、草丈五cm（造成年次の若い草地では二二cm）で牛を入れ、完全に食べつくさぬ様にしようと、次の数字をあげて説明している。

- ① 牧区内の草を全部食べる様に強制した場合、一頭一日四八Kを採食（体重五〇〇K）する。
- ② 更に草の全量の半分を採食せしめた場合、同条件の牛で五六Kを採食する。
- ③ 更に草の1/3を採食せしめた場合、同条件の牛で六四Kを採食した。

四、短期間利用の原則

牛の採食量は、新しい牧区に入牧して第一日目に最高を示し、日が経つにつれて次第に採食量は低下する。

そのため、同一牧区に三日以上滞牧することはさけるべきで、若し一日だけで輪換放牧すると、牛乳生産は最高になる。

◎放牧日数と乳量の関係

滞牧日数	放牧1回目とした乳量比
1 回目	100
2 "	101.7
3 "	97.7
4 "	95.0
5 "	90.4
6 "	89.1
7 "	85.8

この様な原則は、読んでみると誠に至極もつともなことであるが、実際に牧場の運営に於て此の原則をあてはめて、草地利用を行うことは仲々、難しい。それは、草地の面積、家畜の状態、牧区数等によって、大きく制約を受けることである。然し常にこのことを念頭において注意し、更に努力することによ

って草地も、より良くなり、又家畜の畜に対する放牧の効果も挙げて来た訳である。



乾草調整（トラクター）

酪農経営一日診断

（簡単に牛乳生産費を出すこと）

酪大講師 小松伊三郎

1. あなたの牛群（成牛五頭でも一〇頭でも）の、今日一日の生産牛乳1kgいくらの生産費にいくか？を算出するのが、この診断の目的です。
2. その生産費を出すために、今日一日の飼料費と乳量ならびに乳代を知らなければなりません。
3. 三つの実験式
 - a、費用合計一〇〇%Ⅱ飼料費五五%+飼育労働費二〇%+乳牛償却費一五%+その他一〇%
 - b、費用合計一〇〇%Ⅱ飼料

五五%十飼育労働費二五%
 十乳牛償却費一〇%+その他一〇%
 II 第二次生産費II費用合計×九〇%(つまり費用合計から一割引く)
 III 乾乳牛、初乳牛の第二次生産費に当る費用II第二次生産費×九〇%(つまり、第二次生産費からその一割を引く)
 以上の三実験式は、一カ年集計の農林統計から導いたものであるが、この式は一カ月にも適用できるし、ただ一日にも適用できます。また一〇頭集団でも、単に一頭だけでも適用できます。一日経営診断調査表の下部欄外に一〇算式として記入されている六つの式が、この実験式を具体化したものです。(七月からIb式にかえ、一時間一五〇円とします。)

4. 一日の純利益 今日一日の牛乳生産費一kgいくらかを算出すれば、出荷一kg販売価格と比較して、一目して今日一日損しているか、もうかっているかがわかりますが、正確につかむには出荷一kg乳代×今日の乳量ー第二次生産費II今日の純利益(十のこともあり、一のこと

5. 一時間当り労働報酬 今日この診断のねらっている目的は達したのでありますが、形をかえて一日の純利益で具体的に報酬で表現することもできます。この場合労働時間は、実際かかった労働時間がよろしいが、別の方法として、費用合計の二〇%(昭三五年までの一〇カ年平均)、または二五%(昭三六四三年までの七カ年平均)が飼育労働費であるから、これによって飼育労働費を出し、別に仮設の賃金一二五円(一日一、〇〇〇円)あるいは一五〇円(一日一、二〇〇円)をもって割り、労働時間を出す方法もとります。労働時間が出れば

費用合計×25%今日の純利益
 労働時間(飼養管理の) ÷ 一時間当り労働報酬

6. 調査表について(診断日は月中旬の一日がよろしい)
 (1) この調査の対象は成牛(初産した日から成牛となる)に限り、育成牛はとりあつかいません。
 成牛II搾乳牛十乾乳牛十初乳牛

乳牛
 (2) 飼料は上段(粗飼料)、中段(鉱物質、しきわら)、下段(濃厚飼料)と三段に分れています。市価のある濃厚飼料はもちろんそのまま使いますが、市価のはっきりしない粗飼料は費用価により計算します。要するに飼料部門は、育成部門と同じく乳牛部門とは別個で、酪農家の庭先で売買されるものとして扱います。
 (飼料単価表を作成しておけば便利です)
 (3) 欄外の下右隅に、三つの条件としてかいてあるものは①搾乳牛率、②一頭平均乳量、③乳飼率であるが、①と②は共に乳量関係で重要ですが、③はこの表における

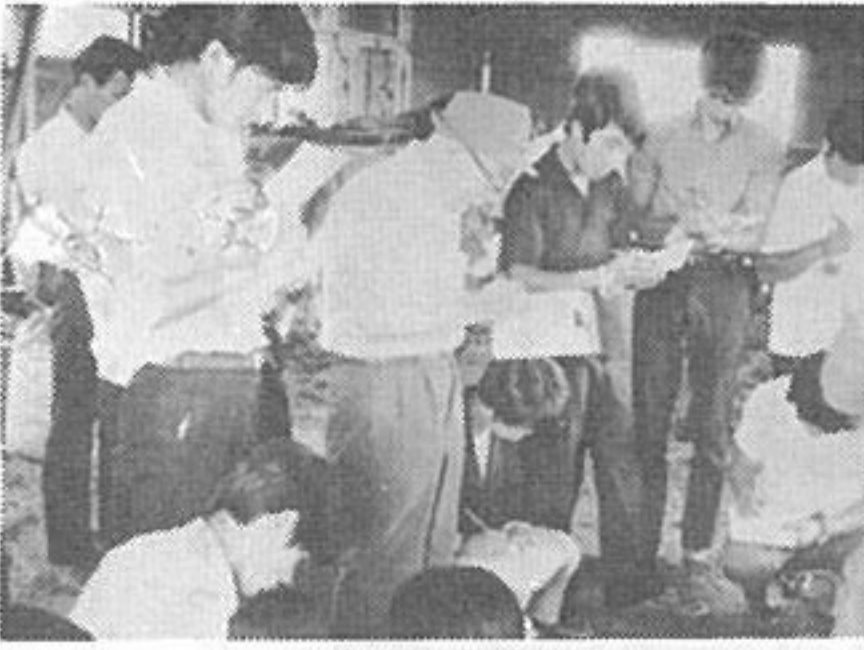
③はこの表における
 搾乳率×100で、よく経営内容が察知できる重要な指標です。(乳飼率六〇%以上は危険信号で六二%以上は明に(一)となります。)

7. 一日診断の副的利用
 (1) 一日診断結果を三〇倍して一カ月の予測をします。乳量、乳代、飼料費、純利益などについて
 (2) 継続六カ月をしめくり前

半期として決算いたします。半年の純利益を追求し、売上高純利益率を見るのです。一カ年の場合も同様
 6カ月の純利益 × 100 = 売上高6カ月の乳代
 30%以上(最上)
 20-29%(上)
 10-19%(中)
 9%以下(下)

(3) 個体別に一カ年の泌乳量の推定
 (4) 簡易経済検定を行うこと、一日診断の泌乳量と飼料費から牛乳一kg生産に要する飼料費を出し、各個体を比較することで、安い高いがわかります。つまり、簡単な経済検定を行なうことができます。

8. 一日診断に要する器具
 (1) ホル協式牛体推定尺(体重)
 (2) 一〇〜二〇kgスプリングバランス(飼料用)
 (3) 二〇〇gの天秤(鉱物質用)



1 日経営診断校外実習

表 1. 飼料 1 Kg 単価表 昭和44年 6月25日作成

<青草>	円	<サイレージ>	円	<粕類>	円	<配合飼料>	円	<種実類>	円	<根菜類>	円	<いも類>	円
イタリアン	3-4	イタリアン.フスマ	4.5	米	30	北酪徳号	30.7	大麦(粒)	37	かぶ	3	馬鈴薯(生)	9.0
トモロコシ	3	デントコーン	5.0	フスマ	29	" 1号	32.4	外麦	32.4	家畜かぶ	3	かんしょ(生)	6.0
ソルゴ	2	ワラ.フスマ	4.5	地フスマ	30	" 2号	31.2	裸麦	52	ルタバカ	2.5		
テオシント	3	レンゲ	4.5	専管フスマ	27	" ハイプロ	42.4	トモロコシ	24	家畜ビート	2.5		
野草	2	エンバク	4.5	生穀粉	2	酪連1号	32.3	小麦粉	43	ビー	2.5		
いもづる	2.5			"	20-23	酪全酪乳配	32.3	碎麦	31.0	家畜かぼちや	3.5		
クロバード	2			生ビール	7	明治乳配	35.3	ンビ	36.5	だいこん	20		
オーチャード	2.5			干	40	2種混合	34.5	屑	40.0	ポ	6.0		

<青草> 円	<青草> 円	<粕類> 円	<配合飼料> 円	<鉱物質> 円	<根菜類>	<葉菜類> 円
混播牧草 20	カウピー 20	ヤシ粕 33	くみあい配合 32.5	食塩 18		白菜 20
えん麦 2.5	セブントップ 20	アマニ油粕 39	日清配合 32.5	鉱塩 70		キャベツ 30
ライ麦 3.0		コブラミール 31	中国物産配合 32.0	コロイカル 33		その他野菜 30
大麦 3.0	<乾草>	ビートパルプ 30	ミナト配合 31.0	ネオコロイカル 45		
小麦 2.5	上 25	グルテンフィード 30		リンカル 75		
ニューソルゴー 2.5	イタリアン 中 20	生トーマツ 40	<粉乳>	トレス 175		
ろぞく 2.5	下 15	大豆粕 55	明治粉乳 120	ニユートレス 275		
Co 3.0	混播牧草 11	醤油粕 22	カーフィード 77	北酪炭カル 120		
レンゲ 2.0	野干草 8	生とうふ粕 7	全酪 60	ナーリン 42		
アルファルファ 2.5	ハイキューブ 35	大麦ヌカ 26	"カーフトップ 156	ニユーゲニシタル 1,111		
コンフリー 3.5	<わら類>	酒米カス 24	"脱粉 118	ホスカル 12		
大豆 3.0		大豆荒皮 33				
そらまめ 2.5		"ミール 35				
ひまわり 2.5	いなわら 4	屑豆 44				
イチゴ茎葉 1.0	5-6	ワカモト粕 124				
スーダングラス 2.5	麦わら 2	魚粉 64				
コンモンベッチ 3.5		ハッカ粕				

表 2 ホルスタイン農家用「1日経営診断」調査表(成牛用)

住所 岡山県津山市 野介代 調査年月日 S44年5月14日
 氏名 西野安男 年令19才 成牛 7頭 調査者氏名 本人 財団法人中国四国酪農大学校(教育部)

乳牛番号	1号(系)	2号(系)	3号(系)	4号(血)	5号(血)	6号(血)	7号(系)	成牛計7頭														
生年月日	34.6.30	39.6.30	39.9.18	39.11.1	40.4.17	41.1.3	41.8.13	搾乳7乾なし														
生体重(テーブ)	348 kg	420 kg	535 kg	545 kg	535 kg	541 kg	320 kg	平均 463 kg														
産次・分娩後月数	7産2月	3産5月	2産8月	3産4月	2産10月	1産14月	1産11月															
最近種付月日・何回目	・・回	・・回	・・回	・・回	・・回	・・回	・・回															
当日乳量 搾乳回数	16.2kg(2)	8.8kg(2)	16.4kg(2)	27.5kg(2)	11.5kg(2)	11.0kg(2)	6.0kg(1)	97.4kg(平均) 139														
品名	給与量kg	単価円	総価円	給与量kg	単価円	総価円	給与量kg	単価円	総価円	給与量kg	単価円	総価円	給与量kg	単価円	総価円	給与量kg	単価円	総価円				
粗飼料																						
レンゲ(生)	15	3	45	15	3	45	20		60	20		60	15		45	15		45	120	3	360	
ワラ	5	4	20	5	4	20	5		20	5		20	5		20	5		20	35	4	140	
小計(生)	35		65	35		65	40		80	40		80	35		65	35		65			500	
鉱物質																						
鈣塩	30	0.07	2.1	30	0.07	2.1	30	0.07	2.1	30	0.07	2.1	30	0.07	2.1	30	0.07	2.1	0.21	70	14.7	
小計	0.03		2.1	0.03		2.1	0.03		2.1	0.03		2.1	0.03		2.1	0.03		2.1	0.21	70	14.7	
濃厚飼料																						
北酪1号	2	324	648	2		648	4		1296	4		1296	2		648	2		648	18	324	5832	
麩	4	270	1080	2		540	6		1620	6		1620	4		1080	2		540	30	270	8100	
押麦	4	324	1296	2		648	4		1296	4		1296	2		648	2		648	22	324	7128	
小計	10		3024	6		1836	14		4212	14		4212	8		2376	6		1836			2106	
飼料費合計(A)			369.5円			250.7円			503.3円			503.3円			438.5円			304.7円			250.7円	(1頭平均386) 2,698.7円
費用合計(B)			681.8円			455.8円			915.0円			915.0円			797.2円			554.0円			455.8円	4,765円
第2次生産費(C)			604.6円			410.2円			823.5円			823.5円			717.4円			499.0円			410.2円	4,289円
1kg当生産費			37.3円			47.6円			50.2円			30.0円			62.3円			45.3円			68.3円	44円
1kg当販売乳価			50.0円			50.0円			50.0円			50.0円			50.0円			50.0円			50.0円	50円
今日の販売乳価格(D)			810.0円			440.0円			820.0円			1,375.0円			575.0円			550.0円			300.0円	(1頭平均696) 4,870円
今日の利益(E)			+205.4円			+29.8円			-3.5円			+551.5円			-142.4円			+51.0円			-110.2円	+581円 5月中+1801円 953円
飼育労働費(F)																						
労働時間(G)			時分			時分			時分			時分			時分			時分			時分	6時4分
1時間当労働報酬(H)			円			円			円			円			円			円			円	240円

註: 1. 本表は成牛(初産分娩以降のもの)についてのみ記入して下さい。
 2. 本表は毎月10日~20日までの間の定時1日を決め記入して下さい。
 3. 本表は自己の経営内容を把握するのが主目的でありますから記入は正確を期して下さい。
 4. 記入は経営者が直接行って下さい, その場合調査者氏名欄は本人と記入して下さい。
 5. 乳牛番号欄の()内は血統登録牛は血, 高等登録牛は高, 種系牛は系で表わして下さい。
 6. 体重測定は推定テーブを使用して下さい。
 7. 費用合計(B)欄以下は記入不要ですが, 唯, 今日の販売乳価格(D)欄は前月の販売乳価(1kg当販売乳価)をもとにして必ず記入して下さい。
 8. 備考欄は牛の移動, 疾病, 乾乳月日, 初乳後の出荷月日などについて記入して下さい。
 9. 当日乳量合計欄の()内は1日平均乳量を表わし, 今日の利益合計欄の()内は1ヵ月換算利益を表わすが共に記入しなくてもよろしい。

10. 算式

$$B = \frac{AA}{0.55} \quad C = B \times 0.9$$

$$E = D - C \quad F = B \times 0.2$$

$$G = \frac{F}{150} \quad H = \frac{F + E}{G}$$
 3つの条件
 (1) 搾乳牛率 = $\frac{7}{7} \times 100 = 100\%$ (出)
 (2) 成牛1頭平均 = 139kg(中)
 (3) 乳飼率 = $\frac{\text{飼料代}386}{\text{乳代}696} \times 100 = 55.5\%$ (中)

ニュージーランド酪農研修を終えて

菊地俊六



ニュージーランドにて

岡山ライオンズクラブと、ニュージーランドのマナワツ地区のライオンズクラブの間で、交換学生としての計画をされ、私と長恒君の二人が選ばれて、昭和四一年七月七日に神戸港を出航した。ニュージーランドに行くことが決定して、日本を出発するまでにあまりにも日数が長すぎるので、何度断念しようかと思つた程だった。しかし、一方では世界一の草地酪農が行われている、ニュージーランドで酪農を勉強して、今後の我々が日本で行っている酪農を考えてみたいと思つて、人選が決定して二年近くになり、七月にニュージーランドへ旅立ったのである。

船は、日本とニュージーランド間

を直行で一二日間要し、大変たい

くつなものであった。夜中にオークランドの港に着いたが、夜のため次の日、七月十九日朝入国手続きをして上陸した。船は日本船であったため、突然耳にする英語がわからないので困つたものだと思つてしたが、我々を出迎えに来てくれたラルフォード氏と、「HOW DO YOU DO」と挨拶をやつてい

るうちに気分も落つき、意味のわかる言葉が聞けるようになりだしたので、私の知つた数少ない単語を最大に利用して、ニュージーランド滞在中の意志を伝えることにしたが、十分な会話でなくても、話にはなるのには自分で驚いたくらいである。

我々の目的地、マナワツのパー

アストンノースへ行くまでの約一週間は、ライオンズクラブの人達との案内で、あちこちと見物をした。見物しての第一印象は、町はカラフルで美しく公園の中に羊が放されているのには日本で見なれない光景に驚ろいた。山岳地を通っている道もすべて舗装されてお目に入る山はすべて草地

化しており立派なコンクリートボイルで造られた柵の中で沢山の牛や羊が草を食べている様子は日本の山岳地とはあまりにも違いすぎるので大変めずらしい眺めで山岳地帯がこのように開発されているのに全く感心した。この風景も毎日接していると帰る頃には雑木や雑草の繁っている風景がなつかしくなる程だったが、地形は日本と大変よく似ているので日本もこのように出来るのにと思つたりした。

私達二人は別々の酪農家に入つて六ヶ月の酪農の実習をした。私のいた農場の規模は平坦地二〇〇エーカーと丘九〇エーカーの計二九〇エーカーの草地と搾乳牛一五四頭育成牛と仔牛が五五頭程度と羊二五〇頭を飼育する大農場で、牛や羊が放牧されている光景は実に素晴らしくよく写真を写したものでした。

ニュージーランドの農場の規模は簡単に説明すると三〇パーセントの農家が一〇〇エーカー前後で三〇パーセントの農家は五〇〇エーカー以上の大農場で大部分の農家は労力を他から入れないで農場自身で労力を充している、それは大型機械を導入して非常な省力を気にして、

力が行われているため飛行機なども盛んに利用されている、このように大きな農場は羊の農場で肉牛と羊をうまく組合せている。酪農の平均規模は一〇〇エーカーの土地に八〇頭の搾乳牛を飼育しているが最近、飼育頭数がだんだん増加している、生活を維持していくのにこのような現象が起つているので、日本と同じことが云えそうである。

題にならない、二〇センチ前後の良質な草を充分食い込んだ牛の能力は相当に高く濃厚飼料にたよっている我々の牛の能力との差はほとんどないと云つてよい、むしろ多いようであった。全くうらやましい限りである。

私の毎日の日課は起床と同時に主人ジムのこしらえたお茶を飲んで朝のミルクキングに出かける、奥さんは朝食を用意するだけなので主人がお茶を運んで行きベッドで飲んでぎりぎりまで起きることはしない。搾乳が終わって帰つても食事の用意が出来ていないことも何度かあった。

冬にあたる七・八月の朝は霜が降りていて毎朝「コールド」の連発時にはミルクキングシェードで湯を長くつけてかけて足を暖めたこともあった。搾乳最盛期には八月から入るが一五四頭の牛の搾乳も二時間で終り朝食をとる、食事の後朝十時と午後三時には必ずお茶が出るがそれらのお茶を飲むと農場に出るので慣れるまでは食後などはゆっくりしたかったが慣れ

でも疲れている時はかえって煩わしいこともあった。搾乳以外の時間は農場の手入れて柵の修理や放

牧後のトッピング、除草作業等で肉体的には苦痛はないむしろ日本で行う作業よりは単純で疲れない。搾乳は朝五時から始まり二時間かかり夕方三時のお茶の後からはじめて五時には終わっていた。夕方の搾乳が済むと一日の作業は終りで日が暮れるまでには大分間があった。又土・日の二日は休日です。搾乳以外の仕事は全くなして老人から子供までスポーツを楽しんでいる。スポーツ人口の多いのには感心したしみは大変上手である。私もテニス、ピンポン等をして楽しんだ。

三木ヶ原

この国の人は家族単位のつき合いをよくする、ティーパーティー等友人を呼んだり出かけて行ったりする、私もよくいっしょにお茶を飲んだ。

ながめ豊かな、ひるぜん原野、河のながれは、旭川、水を鏡にヒゲ面をそば、ひるぜん娘も一目ぼれ……と、蒜山小唄を口づさみたくなる、この雄大な高原の一角に、いつものんびり草を喰む彼の可愛いジャージー牛の群、彼女(ジャージー牛)たちは、汚れた都会から遊びに来た男の子や、女の子たちに、つぶらな瞳を向けて甘く、「わたしたちの、オッパイ一パイいかが」と……

六ヶ月間ジムの農場で実習したが、規模の違いや自然条件の違いで日本の酪農にそのまま持込まれる技術はあまりないがこの国の酪農を見ていると日本の酪農が大変不安定なものに思われる。最近外国から日本に対し貿易の自由化で農産品目をゆるめるよう強く望んでいるように伝えられているが近い将来に外国の酪農製品が今以上に入ることも考えなければならぬと思われ。このためにも、もっと安定した酪農基礎造りが必要で政治的に責任ある政策を要望する。日本に帰って残念なのはニュージールランドで習得した技術を活かすことが土地条件の制約を受け大変困難なことである。今后未利用地の国有地その他の土地を活用して今以上に大型の酪農が経営出来るようになることを望んでいる。

アもので、たちまち、ひるぜん名物となるだろう。現今は、あらゆるものが、自動販売されたり、インスタント時代と言ってもよからう。同じ自動販売機でも、ありふれた型式でなく、彼女の可愛いスマートな肉体系を生かした実物大の牛乳自動販売機がお目見えしたらいかげんかでしょう。オッパイが飲みたい人は、先づ、一定量のエサ(料金)を彼女に給与し、搾乳バケツ(バケツ型のコップ)を用意し好みの乳豆を数回しぼると、搾乳バケツに、パイの新鮮なオッパイが出て味わいながら飲めるといったものが出来ないうか。

趣味

趣味といっても、その種類程度は誠に広く枚挙にいとまがないが、今回はその主なものを拾って先生の御手並拝見といこう。

◇スキー 土地柄だけに滑れる人は数多いが直滑行、斜滑行にイカッコウ、中でもシュテンボーゲン、クリスチャニアとくれば限られる。この道のベテランはキャリアー豊富な常守先生、若手の吉田、金田、服部諸先生。

◇登山・ハイキング 近在諸処踏破せざるはない健脚の持主これまた若手の服部、津田先生。

◇庭球 花田校長、今本次長、森場長その多士済々、学生も愛好者が多く一つコートが欲しいモング。

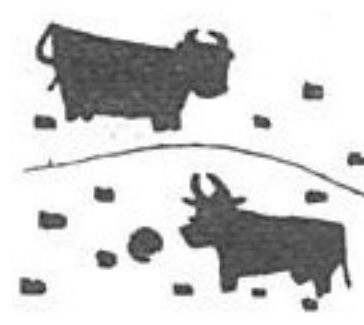
◇卓球 ベテランクラブメンバーの経歴を持つ校長は別格で学生連中も全く歯がたふないがたまには負けて学生にサーブするも忘れない。その他今本次長、狩野課長、森場長、服部、名越諸先生とこれまた多士済々。

◇ドライブ 走行拒離抜群、安全運転で腕に自信のベテランは、狩野、石原、日笠、森、吉田、津高オーナードライバーの諸先生。

快よい緑の風、オゾンの多い空気がもうまいが、それより栄養たっぷりの新鮮な濃くてうまいジャージー牛のオッパイが、自分の手でしぼりながら飲めるとは、とても魅力的ではなからうか。

乳の流れる別天地に、こんな夢を抱くのは、ただわたし一人ではないと思う。

あゝ、ひるぜんは、なんとすばらしい高原だろう。オッパイがもう一パイのみたい。



◇剣道 黙々と剣の道に励むは若き剣豪服部武蔵先生、趣味というより修練か。

◇魚釣 魚の気持ち(?)まで汲みとる田中部長鮎釣りでこなす石原場長は腕もキャリアーも文句のないベテラン。最近頼に腕をあげ魚獲量を誇る美土路先生、更には校長、狩野、吉田、服部、川村、山口諸先生と愛好者多々。

◇盆栽 年期が入って玄人級ベテランは森場長、腕達者なところで今本次長、浅羽部長、狩野課長、更には吉田、川村両先生、ミニミニ盆栽とくれば花田校長、鑑定分類にかけては常守先生とこれまた愛好者は目白押し、年寄りくさいなどというは凡才。

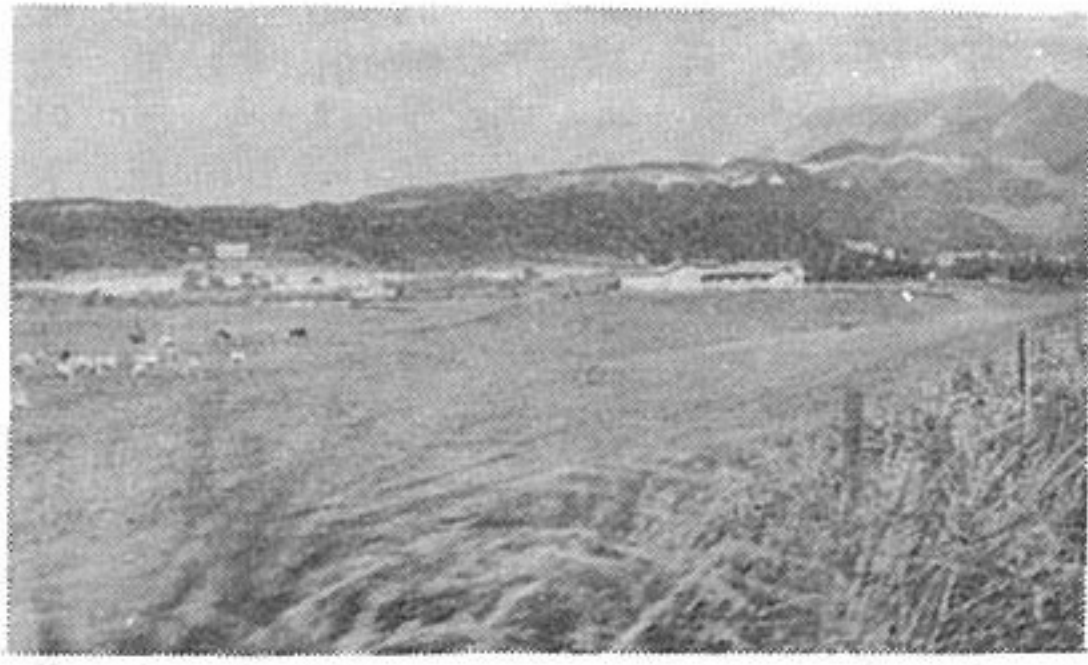
(?)年期が入らニヤ分らんテ。

◇写真 数多い愛好者の中で活躍目覚しいのは服部先生、日報連会員でもある。また熱心なところでは花田校長、今本次長、石原場長、津田先生等々。

◇囲碁 花田校長、今本次長、服部主事、小松講師等有段まではいかなないカモ、だが夫々相当な腕と見た。同じ白黒芸術ながら趣向の変ったところで連珠なら松島先生。

◇音楽 ポピュラーにクラシックに民謡に着々レコードを集めて静かにステレオ音楽を鑑賞する狩野、日笠、服部先生、のどに自信のあるところでは常守、美土路、三牧の諸先生、後に続く者は???

◇生花 花作り、生花と清楚な趣味の持主は大和撫子戸田先生。



第二牧場から
蒜山スカイラインを望む

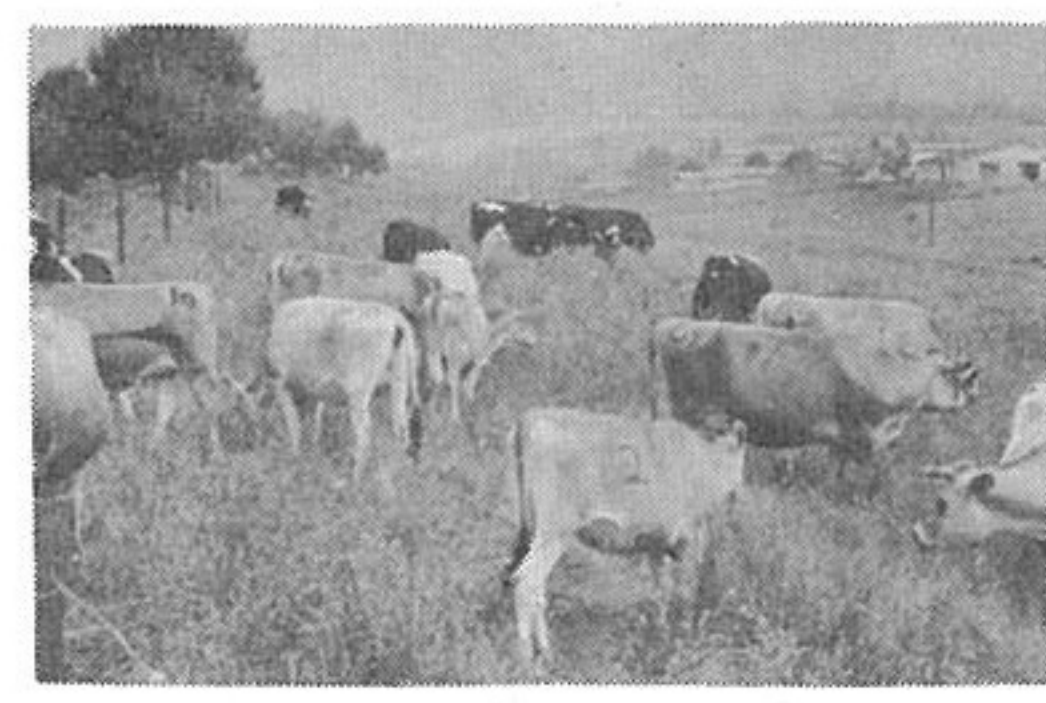
このように何もかもが変って来ていますから、暇を見て一度来蒜して下さい。
懐古談に花を咲かせて見ようではありませんか、現在教育部におりますので、後輩に何か参考になる事がありましたら教えて下さい。
最後に一つお願いですが、優秀な酪農家に早くなつて下さい、後輩をつれて視察に行き、ここが君達の先輩の経営している家であると、鼻高々と学生に説明出来る名

想

昭和三十六年県立酪大が設立され、財団法人中悪しきにつけ思い出多いと思われし足掛九年、卒業生一六四名、在学生八四名着々と教育の基盤も築かれて四博をめぐりて完成を急いでおり、レジャー客を求めての国民休暇村をはじめ、ホテル、ドライブイン等々が一斉に建ちはじめ、様相を一変しており、三木ヶ原牧場のポプラも本格的な並木となり、名所の一つに加えられ、三々五々としてとりどりの服装が見受けられます。君達が蒜山に登山して、ガブガブと飲んだ冷泉塩釜も今はキャンプセンター、養鱒場、旅館が出来、又近にキリスト教の農村センターが出来、外国方式の牛舎も建っております。

随

私も親せきの様な三木ヶ原の育成場に、そして今は酪大に勤務していますので、大体全学生諸君の顔はおぼろけながら記憶しているように思います。
よく卒業生諸君に会い「オッス」と云ったものの、顔は解っても名前を忘れ、何かとつこう事再三、パリッとした服装の諸君に出会うと在学時代の汗まみれのごれた服装で実習していたのを思い出し、懐かしく何か話しかけたくなって来ます。



第二牧場

放牧病の発生に注意

最近放牧地で原因不明の汎骨髄疲が多発しています。
栄養下で、体温上昇、可視粘膜に出血点、貧血症状が見られたら早急に家畜保健衛生所の診断を受けて下さい。

第四期生の集合研修開催

第四期生の集合研修は八月八日九日の両日酪農大で開催、当日は酪農経営についての特別講演の外、自主研修成果の交換会、キャンプファイヤー等有意義な二日間でした。

卒業生の経営調査

さきに依頼しましたところ六一名提出いただき、経営内容(飼育規模)が次の様になつておりました。

三〇頭以上飼養	四名
二〇〜三〇頭	九名
一〇〜二〇頭	二三名
一〇頭まで	一六名
その他	九名

なお未提出の方は至急御提出願います。

第四期生自主研修状況

今期生は四四名中二七名が先進地へ一七名が自宅それぞれ元気に研修しております。

研修地別	研修人員
北海道	一四名
千葉県	一名
静岡県	一名
愛知県	二名
大阪府	一名
兵庫県	四名
岡山県	六名
広島県	二名
山口県	二名
香川県	二名
高知県	一名
自宅研修	一七名(自宅のみ)

乳用牛の飼養戸数および飼養頭数(昭44. 2. 1現在)

単位 戸数: 戸 頭数: 頭

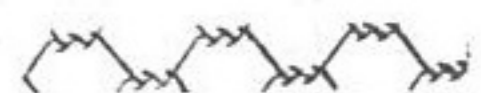
県名	現在飼養戸	飼養頭数	頭数		飼養戸割	1戸当り飼養頭数	搾乳牛の割合	2才未満の割合	前年対比	
			2才以上	2才未満					飼養戸数	飼養頭数
兵庫	10,700	66,100	43,400	22,700	5.9%	6.2	88.3%	34.3%	94.9%	110.5%
鳥取	3,850	13,120	9,500	3,620	6.8	3.4	81.4	27.6	87.7	107.2
島根	3,600	12,500	8,150	4,350	4.1	3.5	84.6	34.8	97.3	115.7
岡山	7,490	37,710	24,660	13,050	4.9	5.0	83.1	34.6	100.1	122.0
広島	5,290	23,830	15,130	8,700	3.5	4.5	83.1	36.5	97.4	108.4
山口	3,340	13,390	9,550	3,840	3.2	4.0	76.0	28.7	108.4	121.9
徳島	7,410	29,970	18,170	11,800	0.5	4.0	87.0	39.4	92.7	104.4
香川	4,020	17,870	11,620	6,250	5.1	4.4	84.0	35.0	94.6	121.1
愛媛	4,550	17,320	11,430	5,890	3.9	3.8	84.6	34.0	100.4	113.6
高知	1,350	6,750	4,110	2,640	2.0	5.0	86.5	39.1	96.4	111.8

第三期生名簿

第五期入学生名簿

楽
ということ

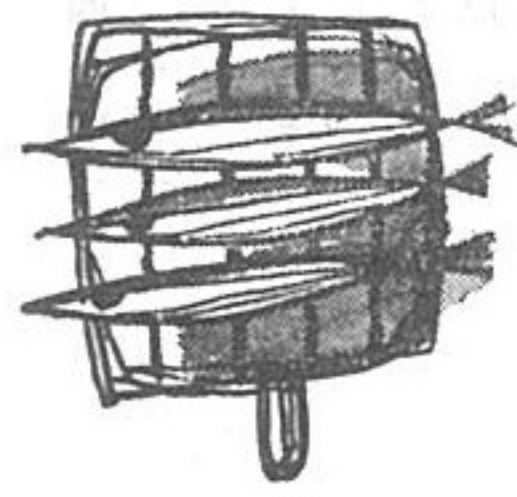
「学問は置き所に依って善し悪しあり、腹の底に置くは善し鼻の先に置くは悪し」と古人に言うた人がある。味噌の味噌臭きは上味噌に非ずとか、如何に学者と雖ども学問臭のある中は駄目で、人と云うものは学問をしても更に進んで学問離れをせなければ本物ではない学問臭いと言う事は兎角学問のみに執ってしまつて、却つて身の仇になる様な事をしでかすことがある。本来美德を顕揚すべき学問が汚い悪徳を現すことが往々にある。例えば学問があるに（なくてもあるが）この学問を鼻にかけて、大切な親を小馬鹿にし何かと言うと言昔人間が、そのこちこち頭で現代を理解していない、などと言い延いては世間一般の人もすべて小馬鹿に見たりあしらつたりするようになるものである。或は財産家にしてもその通りであり、財産離れがしないと兎角金銭の奴隷



となりやすい始終財産が鼻の先に
ついて守銭奴となってしまうその
財産に使はれて財産を利用するこ
とをわすれてします。そして如何
にしてその財産を失うまいかとそ
れのみ心をうばわれて楽しがる
べき人生を苦しいものにして一生
を終る。しかし苦しむことは楽し
むことの裏側であり親が子を育て
るには苦労すると言うが子供が成
長するのは楽しみであり教育者が
育英に従事するのは苦しく楽な職
ではないが教育家にとっては昨今

は何れも容易ならざる艱難を伴う
がその艱難がそれに従うものは無
上の楽しみでなければならぬ。
自分は喰に困らない財産があるか
ら金が沢山あるから楽いん居した
方がのんきなと言う人が多くなる
と人生は自然活動力を失い真の楽
しみは無くなってしまふ。元来人
間は働く様に出来上って居るもの
で度を過ぎてはいけないが適度の
働きは体力を増進する。若し吾々
が働く事を止めて日がな一日無為
徒食寝てばかりいたら身体は退化
してしまふお前は金があるから何
もせんでよいごろごろしておれと
言はれたらやりきれたことではな
い健康であつてごろごろは骨の折
ることだ、我達は終日朝早くから

働いて居ればこそ偶の休日の朝寝
坊が気持ちよく楽しみであるがお
前は起きてはいけないこれから床
の中に這入って居れといわれて幾
週間もやられたので終いは非常に
骨が折れ疲れて死んでしまはぬと
も限らない。時々刻々活動して止
まぬ天地の間に起居する吾々は必
ず働くべきであり此の働く中に無
限の楽しみがわくものである苦中
楽を得てこそ真の楽しみであると信
じている。



感想
第5期生入学にあ
たり各自の感想を
とりまとめたもの
当校を見て

本年四月第五期生四〇名が新し
く入学したが、彼等は酪農後継者
として一体何を感じ、何を求めて
いるだろうか、入学当初の卒直な
感想を聞いて見た。以下その結果
を取纏めてみると大略次の通りで

- 希望した学校に入学出来て嬉し
い。 一 二名
 - 学校の環境が素晴らしい。 二名
 - 牧場規模の大きいのに驚く。 二 二名
 - 講義を聞いて当座知識の不足を
痛感。 九名
 - 実習に対する体力的不安 (女子) 四名
 - 早出の起床がづらい、早く慣れ
たい。 一名
 - 講義の時間が長く感じられる。 二名
 - 集団生活が窮屈 一名
 - 学問の必要性を痛感。 一 一名
 - 短い在学期間を有意義に過した
い。 七名
 - 後継者としての自覚を新にした。 一 一名
 - 精神力を養いたい。 九名
 - フアイトが湧いて来た。 二 四名
 - どんな困難も克服したい。 六名
 - 仲間意識を高めて頑張りたい。 二名
 - 経営規模を拡大したい。 七名
 - 地域の酪農を発展させたい。 一 五名
 - 搾乳技術を十分身につけたい。 二名
- 即ち①先ず入学の希望が叶えられ

た喜びにしたってその感激を訴え
る者が可成り多いのは当然と思わ
れるが、これは言葉に出すと出さ
ないとに拘らず、恐らく全員の共
通した実感であろう。
②次に彼等の目を大きく見はらせ
たものは、何といっても蒜山高原
の広大な景観と牧場規模で、学校
の素晴らしい環境を感歎する者が圧
倒的に多く、恐らくこの様な環境
や規模は、「酪農」に対する彼等の
認識を改め新しい意欲と夢をもた
らせたに違いない。
③さて愈々学習が始って見ると夫
々色々な悩みを感じているようで、
先ず講義の内容について戸惑い時
間を長く感ずるとか畜産知識の不
足を歎くと共に、学問の必要性を
痛感し、また実習面では早起きが
つらい、集団生活が窮屈だとか或
は女性の立場から体力的な不安等
環境の変化に対する悩みが可成り
の数に昇っている。
④然しこれらの不安も、結局は後
継者意識の高揚となり、凡ゆる困
難を克服して、酪農振興のために
頑張りたいとする熱意に置換って
フアイトを燃やす者が圧倒的に多
く誠に心強い限りである。
以上簡単ながら新入生の意識調
査の一端をア紹介します。

編集室

今年の長期天気予報は大雨注意、
早くも極地的に大きな被害がま
したが、毎日何回となくテレビの
天気予報に神経をすりへらしなが
ら、とにかく一番刈の乾草も一三
〇トンと予想以上の成績でした。
つゆもあけ、三番刈の乾草もこ
の八月下旬からはじまり、こんど
は特に育成用の良質の乾草だとハ
リキツておりますが、そばではト
ーモロコシが空をながめて雨をほ
しがっています。
酪農経営は草作りからとよく言
われます。当然おことながら、そ
れをどのように管理し利用して経
営にプラスにするかが問題、本号
は、「合理的放牧の原則」と「酪農
経営一日診断」について執筆して
いただきましたので参考にして下さい。
五期生四〇名も早四ヶ月が過ぎ
学園の水にも馴れ教科はもちろん
心身の鍛練に黙々として励んでい
ます。目前の自主研修も特例を除
き全員先進地の他人の経営に住込
んで磨きをかけることしております。
本格的なうだるような夏がやっ
てきました人も乳牛も疲れが出は
じめます。くれぐれも注意してお
過しく下さい。